

シンポジウム

非住宅建築物の熱源機器容量設計手法の再考

～事例と研究からみた課題と対策～

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、建築物の省エネルギー化と再生可能エネルギーの導入が進んでいます。また、建築物に係る省エネルギー基準の引上げ、さらにZEBの実現と普及に向けて、熱源設備容量の適正化は重要です。そこで本シンポジウムでは、非住宅建築物の熱源機器容量設計手法を軸に、最新の事例と研究を紹介しながら、現状の課題と対策について共有し再考します。

主催：	一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター
後援(申請予定)：	建築普及団体等に申請予定
日時：	2023年11月6日(月) 14:00～16:30
方式：	Zoomウェビナーを使用したオンラインシンポジウム ・安定したインターネット環境下でご参加下さい。またZoom最新版へのアップデートを推奨します。 ・Chrome、Edge等Zoomでサポートされているウェブブラウザをご使用下さい。
定員：	300名
参加費：	無料
申込方法：	▶ お申込みはこちら ※申込み受付は【9月13日(水)】より開始 ※複数名での参加の場合は、お手数ですが申込はお一人様ずつの入力をお願い申し上げます。 またメールアドレスはZoomシステム上、別々の異なるメールアドレスにてお申し込み下さい。
受付期間	2023年9月13日(水)～11月2日(木)

プログラム ※内容や講演者は変更する可能性があります。			
14:00-14:15	開催挨拶	北海道大学	菊田弘輝氏
<第一部：事例紹介>			
14:15-14:30	熱源容量の適正化に向けて－設計の立場から	日建設計総合研究所	岡垣晃氏
14:30-14:45	熱源設備容量の適正化と運用実績事例	日本設計	中川優一氏
14:45-14:55	水方式セントラル空調熱源機の低負荷時省エネ台数制御	三菱電機	赤木智氏
14:55-15:05	質疑応答(第一部)		
15:05-15:10	休憩		
<第二部：研究紹介>			
15:10-15:30	個別分散空調の設計実態分析	国土技術政策総合研究所	宮田征門氏
15:30-15:50	実機の挙動や部分負荷特性	神奈川大学	芹川真緒氏
15:50-16:10	同時使用率の実態－中央熱源方式の集合住宅を事例として	北方建築総合研究所	阿部佑平氏
16:10-16:20	質疑応答(第二部)		
16:20-16:30	閉会挨拶	建築研究所	澤地孝男氏

注意事項：

- 内容および講演者は、急な都合により変更となることがあります。予めご了承下さい。
- お申し込みは先着順で定員になり次第締め切ります。予約は受け付けておりません。
- 当日欠席された場合、録画した動画のストリーミング配信は予定しておりません。

問合せ先：

一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター 建築省エネルギー部 青木・松尾・今井
東京都千代田区平河町2-8-9 HB平河町ビル 電話：03-3222-6946 電子メール：jiritsu1@ibecs.or.jp

○本申込みにより一般財団法人住宅・建築SDGs推進センターが取得する個人情報の利用目的は以下の通りです。

- 本シンポジウムに係る案内及びプログラム更新情報に関する連絡
- その他財団が開催する講習会・セミナーの案内

なお、個人情報保護法に定める事項については、当財団のホームページ(<http://www.ibecs.or.jp/>)をご覧ください。当財団までお問い合わせ下さい。(電話：03-3222-6681)